

ゆずりは通信 (vol. 40)



● 定例教育委員会での主な審議事項等

★平成 30 年度 第 8 回 (H30. 7. 19)

- ・「ひょうごっ子 SNS 悩み相談」の実施について

★平成 30 年度 第 9 回 (H30. 8. 2)

- ・「第 2 期『ひょうご教育創造プラン』平成 29 年度取組状況」報告書にかかる教育委員会所管の取組に関する件

★平成 30 年度 第 10 回 (H30. 9. 6)

- ・市町立小中学校における空調整備の状況について

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページの[教育委員会会議](#)でご覧いただけます。

県教委 TOPICS

● 「いきいき運動部活動」を改訂

本県では望ましい運動部活動の在り方を示すため、これまでから「いきいき運動部活動」を作成し、その推進を図ってきました。

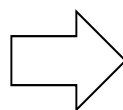
このたび、平成 30 年 3 月にスポーツ庁から、新たに「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が示されたこと等を踏まえ、生徒の健康管理と教職員の負担軽減を図るため、本県の「運動部活動の在り方に関する方針」として、「いきいき運動部活動」を改訂して県方針とします。高等学校においては、本改訂版に則り、平成 30 年 10 月より取り組むこととします。中学校は、スポーツ庁ガイドラインに則り、本改訂版を参考に市町組合教育委員会が策定する方針により取り組むこととなっています。

〔改訂の主なポイント〕

- ・ 休養日設定及び 1 日の活動時間について、新たな基準を設定

【3 訂版 (旧)】

○ 平日は最低週 1 日以上、土日等の休業日は最低月 2 回以上の休養日を設定する。



【4 訂版 (新)】

改 週当たり 2 日以上 of 休養日を設定する。(平日及び土日等の休業日にそれぞれ 1 日以上設定)

追 1 日の活動時間は、平日 2 時間程度、土日等の休業日は 3 時間程度とする。

- ・ 熱中症への対策を含む事故防止や安全対策を明記

- ・ 県教育委員会と市町組合教育委員会のそれぞれでの役割分担を明確にし、新たに追加

●数学・理科甲子園ジュニア2018を開催

平成30年8月17日（金）に「数学・理科甲子園ジュニア2018」を開催し、県内の中学生が数学・理科等の知識をもとに日常生活と関連付けながら解決する問題に挑戦しました。

62の出場チーム（1チーム3名）が予選の筆記競技に取り組み、決勝に進んだ24チームが製作や実験をしながら問題を解く実技競技を行いました。

記念講演では、国立研究開発法人海洋研究開発機構の小倉訓室長から「有人潜水調査船『しんかい6500』とそこで見た深海の世界」をテーマに、有人潜水調査船の仕組み、深海の様子や生息する生物について経験や貴重な海底映像を交えて、ご講演いただきました。

〔大会の結果〕

優勝：加古川市立平岡中学校（平岡中46）
準優勝：西脇市立西脇南中学校（Shine! 鴨 KAMO カモ）
※（ ）内はチーム名

優勝と準優勝の6名がチームを組み、
兵庫県代表として全国大会に出場します。

〔全国大会の日程〕

第6回科学の甲子園ジュニア全国大会
平成30年12月7日（金）～9日（日）
つくば国際会議場、つくばカピオにて



競技の様子



入賞チーム

●県立学校が県庁の緑化に取り組んでいます

9月は県立篠山産業高等学校の農と食科の1年生3人が作品を展示してくれました。

バジルやゼラニウムなど学校で栽培しているハーブを使用して、爽やかな「産高ハーブガーデン」が制作されています。県庁にお越しの際は、見るだけでなくぜひ香りも楽しんでください。



●教育委員会に展示する県内生徒の絵画等の作品に感謝状を贈呈

教育委員会では毎年、「全国高等学校総合文化祭」や「みんなのアート展」に出品された絵画等の中から、出品者のご好意により作品を展示しています。

このたび、下記の6作品を1年間展示することになり、制作者の皆さんへ教育長から感謝状が贈呈されました。作品は教育長室や3号館10階の廊下に展示していますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

【感謝状受賞者及び展示作品】

- ・ 県立社高等学校 井上 愛美さん 「晴れ間」
- ・ 県立氷上特別支援学校 岡田 理央さん 「ぶらぶら人形」
- ・ 県立豊岡高等学校 織田 佑香さん 「仁者壽」
- ・ 県立八鹿高等学校 上仲 葉音さん 「共存」
- ・ 県立三木東高等学校 中村 実優さん
「私の領域、光の岸边。」
- ・ 県立加古川西高等学校 溝上 怜海さん
「フィルター越しの私」



●楽しく学んで「ものづくり」！

高校生と地元企業によるひょうご産業教育フェア を開催します

県内の職業教育を実践する高等学校と地域産業の連携を密にし、各学校の学習成果を地域に発信するとともに、地域産業を広く高校生に紹介する「高校生と地元企業によるひょうご産業教育フェア」を開催します。

フェアでは、ホバークラフトやブローチづくりなどの体験コーナーのほか、高校生が作った野菜や草花などの販売コーナーもあります。

現在、体験コーナーや販売コーナーなど出展に向けて準備を進めているところですが、このたびフェアをPRするポスターが完成しました。

手のひらから様々なものが生み出されており“ものづくり”への愛が伝わるあたたかいデザインです。

職業学科の学びの魅力を体感しにぜひお越しください！



開催日時 平成30年10月20日(土)

10:00~14:30 雨天決行

会場 姫路市大手前公園 イーグレひめじ 他

※詳細はホームページをご覧ください。

●大当たりな「全国都道府県教育委員連合会」

玉岡 かおる 教育委員



昨年来、兵庫県の教育委員を代表し、全国都道府県教育委員連合会に出席しております。今年度は兵庫県が理事にも当たっていて、私が理事会に出席しております。

そして、隔年に実施されている国際交流事業では、昨年、29年度に兵庫県が近畿代表に当たり、私が委員を代表してアメリカ合衆国の首都、ワシントンDCに視察に行っていました。（もう、大当たりですね、兵庫県！）

しかも私を団長にご指名いただき、全国47都道府県の代表としての訪米です。（こうなると大当たりしてるのは私でしょうか？）

本年1月、全国大会でも視察についてご報告させていただきましたが、ワシントンDCへは9月17日から24日まで8日間を費やし、日本大使館への表敬訪問を始め、全米地方教育委員会（NSBA）、教育科学研究所（IES）、全米州教育長議会（CGSO）、連邦教育省などの教育行政機関を次々に訪問、米国の教育政策を聞くなど精力的な視察を行いました。

次いで、実際の教育現場を見るため、特別支援教育（インクルーシブ教育）、才能教育、若年・貧困家庭の小中教育などなど、盛りだくさんのテーマで臨みました。

もっとも驚いたのは特別支援学校における手厚いケア。EESA といって、子供が21歳になり一人で生きていけるまで、その子だけの教育プログラムが細やかに作成されることが法律によって定められているのです。そこには独立宣言以来のこの国の人権の理想があり、寄付というダイナミックな教育支援のあり方など、日本にない英断が見られます。

とはいえ広大で人種多様なアメリカが抱える教育問題は複雑で深刻。

我々のプレゼンに対する先方の反応も視察のうちで、日本における乳児の医療費無料、義務教育での教科書無償は、当たり前と思っていたのに「amazing!」と感嘆されました。

何にせよ、先の読めない不透明な時代性はいずこも同じ。そんな中での教育は、我々がこの国の子供たちに残せる何よりの宝であると再認識を繰り返す日々でした。



今後のイベント情報

★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	<u>日本スペイン外交関係樹立 150 周年記念</u> <u>兵庫県政 150 周年記念事業</u> 特別展 <u>「プラド美術館展</u> <u>ーベラスケスと絵画の栄光」</u>	H30. 6. 13(水) ~ H30. 10. 14(日)
県立人と自然の博物館	<u>コレクション展</u> <u>「美しき蝶たちとの出会い</u> <u>ー江田コレクション展 2018」</u>	H30. 7. 7(土) ~ H30. 9. 30(日)
	<u>県政 150 周年記念事業展示特別企画</u> <u>「ひょうご五国の自然展」</u>	H30. 10. 6(土) ~ H31. 1. 6(日)
県立歴史博物館	特別展 <u>ほろよい・ひょうごー酒と人の文化史ー</u>	H30. 10. 6(土) ~ H30. 11. 25(日)
県立考古博物館	<u>県政 150 周年記念事業特別展</u> <u>装飾大刀と日本刀</u> <u>ー煌めきの刀剣文化ー</u>	H30. 10. 6(土) ~ H30. 12. 2(日)
県立考古博物館加西分館 「古代鏡展示館」	<u>秋季企画展 唐建国 1,400 年</u> <u>唐王朝の彩り</u> <u>宮廷の栄華をうつす金銀銅</u>	H30. 9. 14(金) ~ H31. 3. 12(火)
兵庫陶芸美術館	<u>県政 150 周年記念事業 特別展</u> <u>「没後 50 年 河井寛次郎展</u> <u>ー過去が咲いてゐる今、未来の蕾でー</u> <u>杯な今ー」</u>	H30. 9. 22(土) ~ H30. 12. 9(日)
横尾忠則現代美術館	<u>兵庫県政 150 周年記念事業</u> <u>横尾忠則 在庫一掃大放出版</u>	H30. 9. 15(土) ~ H30. 12. 24(月)